

学校だより

令和6年8月28日(水) 第5号

自ら学ぶ生徒・心の豊かな生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>



西原中生、夏の活躍

校長 細井 博幸

39日間の夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。今年の夏と言えば、やはりパリオリンピックが印象に残っているかと思います。海外大会で過去最多となる金メダル20個を獲得し、東京オリンピックに続き、参加国中第3位の獲得数となりました。日本選手の活躍に、多くの感動が生まれました。そのような中、本校の生徒達も埼玉県中学校総合体育大会において健闘しました。柔道男子団体、柔道男子・女子個人、男子テニス個人、いずれも惜敗、入賞には至りませんでした。最後まで諦めず、一生懸命戦う姿に感動しました。そして水泳女子個人800m自由形に出場した2年生が見事第2位。埼玉県代表として、8月16～18日にかけて石川県金沢市で開催された第64回全国中学校水泳競技大会に出場し、予選14位、2年生の中では全国トップのタイムとなる大健闘を見せてくれました。全国大会の記録に「西原中」の名前が刻まれることはとても誇らしいことです。今から来年の大会が楽しみで仕方ありません。本当に選手の皆さん、頑張りました。



7/21 埼玉県中学校総合体育大会

8月2日には、「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」が開催されました。本校からも生徒会代表が参加し、全てのさいたま市立小・中・中等・高等・特別支援学校168校の代表者が集まる中、本校の取組の発表、いじめ撲滅に向けた話し合いに熱心に取り組んでくれました。前半の活動では、4・5校ごとにグループに分かれて「ストップいじめ!」について各校の代表者によるグループ協議が行われました。話し合いの中では、「いじめをいち早く止めることの大切さ、そのためには周りの関わり方が大切であること。」「そもそもちょっとしたすれ違いからいじめは発生しがち。ちょっとしたことに気を付けることでいじめの発生自体を止めることができるのではないか。」「目には見えない区別、差別的な行動もいじめなのではないか。」「言葉だけでは変えられないこともある。言うのではなく、態度で示そうとすることが大切。」「小学校であれば縦割り活動、中学校であれば部活動といった学年を越えて関わるのが大切。」といった意見が生まれていました。また、各校で行われている「あいさつ運動」への取組方、取組時に困っていることなども話し合われ、各学校の2学期以降の活動の充実につながる話し合いとなりました。後半の活動では、前半の内容をワークショップ形式でより多くの学校に広める発表が行われました。20か所の会場で前後半に分かれての発表の全てを聞くことはできませんが、どの会場でも充実した話し合いの成果が発表されていました。本校においても、生徒会を中心に今回の子どもサミットの成果が広がるのが楽しみです。



8/2 さいたま市ストップいじめ!子どもサミット

さあ、2学期の始まりです。体育祭が1学期となり、2学期の行事にはじっくり取り組めるかも知れません。1、2年生は、9月30日から始まる新人体育大会に向けた練習、3年生は高校入試に向けた学習がより一層本格化するかと思います。厳しい暑さは、まだまだ続きそうですが、水分補給、体調管理、そして何より心の健康を大切にしながら、よりよい2学期がスタートできることを願っています。地域、保護者の皆様におかれましては、2学期当初の西原中生、お子さんの変化等、小さなことでもお気軽に御相談いただくと幸いです。2学期もよろしくお願いいたします。